



絆の草中

④

草野中学校だより

発行責任者 校長 丹野 英雄

第4号 令和2年7月17日発行

【いわき市中学校体育大会日程及び会場】

陸上◆7月21日(火)～22日(水)いわき陸上競技場 水泳(特設)◆7月24日(金)～25(土)いわき市民プール

軟式野球◆7月29日(水), 8月4日(火), 8月6日(木)平球場・小名浜球場・南部スタジアム・いわきグリーンスタジアム
ソフトテニス◆8月5日(水)～7日(金)平テニスコート

新体操(特設)◆7月27日(月) バレーボール◆7月28日(火)～29日(水), 8月2日(日)
バドミントン(特設)◆7月30日(木)～31日(金), 8月3日(月) 剣道(特設)◆8月4日(火)～5日(水)
卓球◆8月7日(金)～9日(日) バasketボール◆8月10日(月)～12日(水) いずれも、いわき総合体育館

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため大会関係者以外、保護者の方も会場には入れませんので、ご理解・ご協力をお願いします。

7月16日(木)6校時に「いわき市中学校体育大会」に出場する選手の健闘を祈り、選手壮行会を実施しました。

例年、陸上大会は5月下旬に、また総合大会は6月中旬に開催していましたが、ご存じの通り、新型コロナウイルス感染症対策のため県大会以上の上位大会が中止となったため、3年生の競技力を発揮する集大成の場として本大会が位置づけられ、7月21日から8月12日までの期間に無観客で各競技が繰り広げられる予定です。

本校からは、野球、バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、陸上、水泳、剣道、バ

ドミントン、新体操の各競技に多数の選手が出場します。

例年であれば、応援団による激励応援で志気を高めるところですが、今回は自粛の対応をとり、全校生徒が一堂に会する状態を避けて、放送での壮行会としました。とはいえ、各部の選手紹介や決意表明など、選手の意気込みが放送を通じて全校生徒に十分伝わる熱を帯びた壮行会となりました。

無観客試合が開催の条件になっているため、保護者の方も会場へ入ることができませんが、選手の方皆さんには、これまで培ってきた力と技を十分に発揮してくれるよう願っています。



各部の選手紹介と大会に向けた決意表明がなされたのを受け、生徒会長から激励のメッセージが贈られました。



出場選手を代表して、野球部主将がお礼の言葉を伝えました。

市大会出場選手壮行会を放送で実施しました

台風や豪雨による水害に備える

本校では、6月に全校生徒で洪水想定避難訓練を実施しています。1階に浸水した設定で3階への垂直避難をしました。生徒からは、右に掲載した感想が寄せられました。

草野中学校区は、夏井川をはじめ大小様々な河川や用水路があります。米や野菜などの農作物を作る上では水は欠かすことができません。そのため、草野地区の先人たちは、豊かな恵みをもたらしてくれる水を求めて水路を築いてきた歴史があります。

一方で、豪雨や長雨による洪水の発生が心配される地域でもあります。このように自然は、私たちに恵みを与えてくれる一方で、災害をもたらすという二面性を持っています。

草野中学校のある場所は、洪水が発生した場合に1m～2mの高さまで水が押し寄せてくると予想されています。この高さは、1階の窓の高さぐらいに達すると思われます。

もし、1階に水が流れ込み、人の膝上の高さまで達したとしたら、外に避難することは無理です。水圧によって体の自由が効かなくなるからです。このような場合は、より高い場所へ垂直避難するしかありません。

防災の専門家は、避難が遅れてしまう最大の要因として、いつも大丈夫だったのだから今回も大丈夫だろうという人間の心理が働くことを挙げています。こうした心理を「正常性バイアス」と言います。経験が豊富な大人の人ほど、その傾向が強いと指摘されています。

どこにいても、誰といっても、「正常性バイアス」に惑わされることなく、適切な判断に基づいて避難行動を起こせるようにしてほしいと思います。

そのために、日頃から自分や家族の命は自分たちで守るという心構えと備えをしておくことが大切ですね。

【1年女子】

1学年は、音楽室と音楽準備室と図書室に避難しました。今回は、「洪水になってしまった時」のための避難訓練でした。

はじめは、慣れない避難訓練だったので、緊張していました。ですが、移動が始まってすぐに、気持ちを引き締めて真剣に取り組むことができました。

これから、もし、洪水が起こってしまったとしても、臨機応変に行動ができるようにしたいです。

【2年男子】

今回の避難訓練は「洪水」を想定して行われました。昨年の秋に起こった台風第19号。草野では、あまり被害は大きくありませんでしたが、全国的には死傷者も多く、住む場所を失い生活が困難に陥った方もたくさんいます。

これは、他人事ではなく、私たちにもいつ、どのような災害が起こり得るか分かりません。もし、実際に災害に直面したら、当然のように行っている避難訓練が、自分の命を救うはずです。これからも、もしもに備え1回1回の避難訓練に真剣に臨んでいきたいです。

【3年女子】

私が避難訓練を終えて感じたことは、冷静に判断することの大切さです。今回は訓練だったため冷静に素早く行動することができました。しかし、実際に水害が起こった時に冷静でいられるかどうかは分かりません。

そういう時にこそ、今回の避難訓練での経験を活かし、冷静な判断のもと素早く行動に移せるようにしたいです。また、正常性バイアスの思考はやめ、適切な判断をし、諸刃の剣である「自然」と上手に付き合っていきたいです。

【教育目標】

自ら学び、考え、正しく判断できる生徒
絆を大切にし、思いやりを持って行動できる生徒
進んで運動し、心身ともに健康な生徒



〒970-0101

福島県いわき市平下神谷字宿25番地

TEL 0246-34-2208 FAX 0246-34-2771

E-mail : kusano-jh@city.iwaki.lg.jp